

## 笠間焼壺入り酢蛸のデザイン開発

### 【相手先企業】

株式会社丸竹商店

### 【目的】

本県における煮たこ加工生産は全国の25%程度のシェアを持ち、代表的な水産加工品となっている。特に、那珂湊は昭和30年代末より代表的な水産加工として栄えたが、外国産品に押され市場が粗悪化し、産地イメージのダウンにつながった。ここで那珂湊漁港の産地イメージ及び煮たこ加工の地域ブランド化の推進を図るため、デザイン開発支援した。

### 【内容】

現代の消費者は、日常生活は切り詰めても付加価値の高い商品・サービスへの出費は惜しまない「選択消費」「こだわり消費」の増加が見られている(高級スーパーが人気)。

また、グリーンコンシューマーに代表されるように値段、便利さ、外見の良さなどの他に「ゴミを出さない」「原材料が健康に良い」といった視点が商品の選択肢として挙げられている。

このように素材や産地、品質を重視した商品、環境を配慮したパッケージは現代の消費ニーズであり、那珂湊漁港と笠間焼の産地イメージを盛り込んだ地域ブランド商品をデザイン開発した。

### 【成果】

素材や製法に拘った地域ブランド商品として新聞掲載され、酢蛸の需要が集中する年末時期と重なり、短期間で完売することができた。また、一般消費者の他、関係団体から通年商品として望む声が寄せられ、新たな市場の可能性も膨らんでいる。



基礎となった事業：デザイン開発支援事業（平成14年度）  
 担当部署：デザイン開発部 佐藤茂